

【ウイング自然降下の確認方法】

☆自然降下とは？

ウイングを上げ、時間が経つに連れ、ウイングが自然（未操作）に降下してくる症状。
自然降下の原因は、油圧保持ができないことが原因です。まずは、下記方法にて特定原因ヶ所を判断し、処置または交換作業を行って下さい。

1. 左右（または両方）どちらのウイングが自然降下するのかを確認して下さい。
※両方のウイングが降下する場合は、ユニット内バルブの不具合またはゴミ詰まりの原因が考えられます。
2. 上記1. にて自然降下側のウイングが確認できたら、左右のウイングを全閉して下さい。
下図のように、ユニット部の油圧配管を左右入れ替えて下さい。
（下図参照）
・下げ回路：①と③を対称的に入れ替え ・上げ回路：②と④を対称的に入れ替え
※入れ替える時は、上げ用と下げ用を間違えないよう気をつけて下さい。

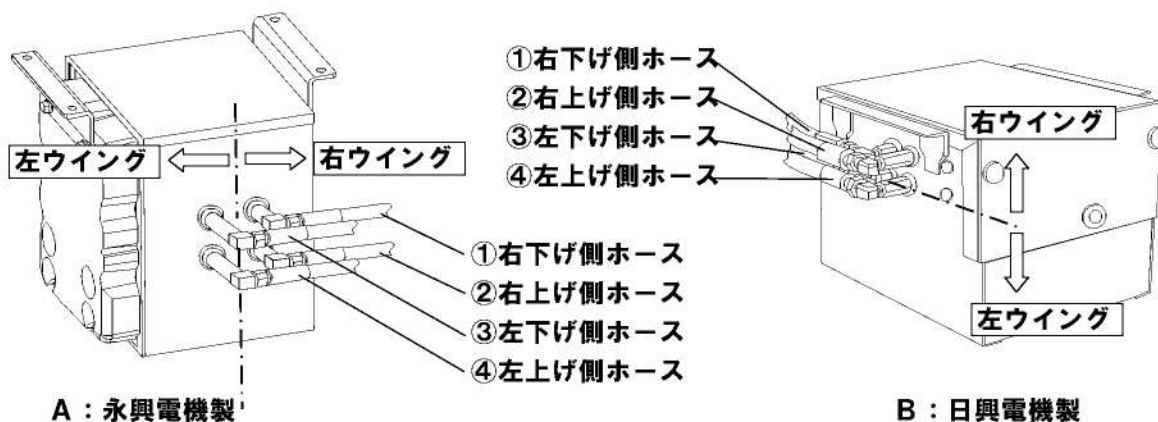


図1. 各ユニットによる油圧配管位置

3. ホース入れ替え後、左右のウイングを全開（または45°）にして下さい。

（推定原因判断）		
①	ホース入れ替え後 : 逆側のウイングが下がった	⇒ユニット内バルブ不良の疑い ※ゴミ詰まりの可能性もあります
②	: 同じ側のウイングが下がった	⇒シリンダー内部リークの疑い
<p>※注意：油圧ホースを入れ替えていますので、右（左）ウイングスイッチを押すと左（右）ウイングが動きます。</p>		

4. 判断が付きましたら、部品を新規に交換して下さい。
※シリンダーの内部リークの場合、前なのか後なのかの判断は難しく、時間が許せるなら別途、方法を指導いたします。
しかし、年式が経過していると、不具合側の部品だけ新規交換してしまうと、同調不良や早い段階で古いシリンダー側にも負担がかかり、2次不具合につながる可能性もありますので、前後のシリンダー交換をお勧めします。

自然降下については

- ・スーッと早く降りるのがユニットを疑ってください、パイロットチェックバルブ交換などが考えられます。
- ・徐々に下りる場合、シリンダーを疑ってください、この場合、（基本的に）シリンダー本体交換となります。